埼玉女子短期大学研究紀要　第1号　1990.03.

談話接続の日英語対照研究
——「しかし」とＢｕｔ——

A Contrastive Study of Connectives
——*shikashi* and "But"——

林　田　弘　美
Hiromi Hayashida

1.　現代日本語の特徴の一つに挙げられるのは接続詞の種類の多さであるが，その中でも特に，「しかし」（そして「しかし」よりも口語的な「でも」）の使用頻度が目につく。例えば，

(1)　殺された木元健一（佐藤英夫）は，温厚な人柄で人から恨みをかうことはない。しかし，警察は殺され方から犯行の動機を恨みと見ていた。しかし，殺された木元は信用金庫から医療機器購入名目で三百万円借り出していた。妻・文子（池内淳子）には，どうして夫がその金を必要としていたのか分からない。（『朝日新聞』11月７日）

(2)　小柳　……，とか思ったりしますけど，やっぱり，面と向かっては言えませんよね。
　　石原　しかし，怖いな。こんな美人が。
　　小柳　でも，みんな，個々にあるんですけどね，霊感は。
　　石原　僕もそう思う。
　　小柳　私，石原さんは，かなり霊感が強い方だと思いますよ。
　　石原　いや，僕は，あまり ——。
　　小柳　でも，ご自分の意志に忠実に生きていらっしゃるから……それは，
　　霊感なんですよ。（『週刊宝石』12月14日号）

などである。例(1)は単一段落内に「しかし」が二度，例(2)は対談の一部であるが，女性（小柳）の用いる「でも」を合わせると三度出現する。

ところで，「しかし」に必ず一度は出会うと思われるのは，書き言葉では，新聞の投書欄であろう。

(3)　その後，半年ほど裁判が続き，結局，追徴金だけで済む判決が下りました。だが，新聞の報道はありませんでした。新聞の社会的責任を考えると，事件の発覚と同時に犯人，あるいは容疑者の住所や実名を報道することは仕方のないことだと思います。しかし，事実関係に不明確な点や，争いがある時は，それが明確になるまで報道を控えることも必要でしょう。（『朝日新聞』10月16日）

(4)　先月十八日付本欄，「20歳以上でも“女の子”とは」に賛成です。しかし，現実には，「女の子」と呼ばれることに抵抗しないどころか，その言葉で表わされる甘えた状況に安住している女性もたくさん見かけます。

男性側にだけ問題があるわけではありません。（『朝日新聞』7月5日）

例(4)に関していえば，「賛成です」ときりだしてはいるものの，実は投書者は，“女の子”と呼ばれる原因は女性側にこそあると主張しているのである。本当の主張内容を最初からもってくる形をとらず，一旦は相手，この場合は6月18日付投書者の意見に同調し，相手との協調をはかりながら自己の本心を吐露する。投書・論説の類の文章に多くみられる「しかし」は，譲りながら主張する日本人の論理の展開構造が端的にあらわれらている例である。

この様に，書き言葉・話し言葉を問わず頻繁に用いられる「しかし」であるが，Mizutani & Mizutani (1979:29) は，英語母国語話者には次に引用する「しかし」の用法が理解し難いと指摘する。

(5)　(A and B meet on the street.)

A：Ocha-demo nomimasen-ka. (Why don't we have some tea?)

B：li-desu-ne. Asoko-wa doo-desu-ka. (Yes, let's. How about that coffee shop?)

A：Ee, ja asoko-ni shimashoo. (Okay. Let's go there.)

(The two start walking to the coffee shop.)

A：Shikashi Tanaka-san-mo eraku narimashita-nee.(But Mr. Tanaka has been moving up in the world lately, hasn't he?)

B：Soo-desu-ne. (Yes, he has.)

通りで偶然出会ったA・Bの二人はお茶を飲むことにする。「ええ，じゃあそこにしましょう」と，喫茶店の選択に同意するAの発話に続き，直ぐに又はほんの少し間をおいて，同じAが田中さんについて話し始める。相互に何ら脈絡がみとめられない二つの話題の間に接続詞「しかし」が挟みこまれており，この「しかし」が何なのか，日本語を学習する英語母国語話者は理解に苦しむ。我々もこの種の「しかし」に日常接していながら，日本語母国語話者であるが故に改まって気に留めることがない。Mizutani & Mizutani は例文を挙げるにとどまっているが，本稿では，その理由を探ると共に，談話レベルでの日本語と英語の接続のあり方の違いを考察してみたい。

2. 本来，或る言葉の或る表現（単語）に対して別の言語にその the equivalent（同義語）が存在すると考えてはならないし，事実殆ど存在しないのだが，それでも外国語学習に際して多くの人々は母国語の干渉（interference）を免れ得ない。「しかし」を耳にした英語母国語話者は，どうしても But若しくはそれに類する語を頭に思い浮かべ「翻訳」してしまうし，我々も Butがあるとつい「しかし」に移しかえてしまうのである。But に置き換えるからこそ，例(5)の「しかし」について彼等は理解に苦しむのであり，それは，つまり，英語の Butにはこの種の用法がみられないことを示唆する。そこで，まず，英語の Butと日本語の「しかし」の用法をそれぞれ検討することにする。

英語の接続語句は，意味的に，Additive (累加的)，Adversative(反意的)，Causal (因由的)，Temporal(時間的) に大別されるが，ButはAdversative のグループに属する。その中でも特に Butに近いものとしては，

however, yet, and yet, even so, still, nonetheless, nevertheless, though

が挙げられる。

反意接続詞 Butについて，A Comprehensive Grammar of the English Language (1985: 935)は次の様に説明する。

(6) *But* expresses a contrast which could usually be alternatively expressed by *and* followed by *yet*. The contrast may be in the unexpectedness of what is said in the second conjoin in view of the content of the first conjoin:

But はcontrast (対照・対立・対比) を示し，コンテクストによってはそこに“unexpectedness”(意外性) の意味合いが付加されることになる。

(7) “He (Stalin) had a lot to do with the industrialization and collectivization of our country,” asserted one blond-haired boy. But a classmate countered, “Some consider him a criminal because he ruined our country's industrial system.” (Time, July 25, 1988)

(8) When I am in the UK, I am a loyal subject of Her Majesty and feel as much of a monarchist as anyone else in the country. But as soon as I land at Calais, the republican fervor in me takes over and I feel proud of the achievements of the French Revolution. (出典不明)

例(7)では，スターリンはソ連国家建設に功績ありとみなす意見と彼こそソ連を駄目にした張本人だとする意見が，例(8)は，一人の二重国籍者の君主主義者の横顔と共和主義者の横顔が，各々contrast (対照) をなしている。一方，先行表現から予想される結果や結論とは反対のことを後行表現が表わすために“unexpectedness”を伴なう対照の例は，以下の通りである。

(9) The National Police chief said his forces were on full alert and warned illegal protests would be “harshly dealt with.”
But demonstrations were reported in several areas, including the southern city of Kwangju,.....(The Japan Times, Dec. 18, 1987)

(10) Since the beginning of the year, the Fed has occasionally nudged short-term interest rates higher in an effort to cool the economy.
But Wall street economists had not expected the Fed, all of whose members were appointed by Rresident Reagan, to raise the psychologically important discount rate so close to the November presidential election. (Asahi Evening News, Aug. 10, 1988)

不法デモを防ぐべく国家警察が厳しく取り締まるという先行表現からの予想を裏切って，

数箇所でデモがみられたことを，例(9)のButは示す。また，例(10)の後行表現である，公定歩合引き上げは実施されないとのウォールストリート関係者の見解は，ＦＲＢが年初来より短期金利を高めに誘導してきたという先行表現からの予想とは逆のものである。“unexpectedness”とは，筆者自身が，若しくは読み手が感じるであろうと筆者がとらえる“unexpectedness”なのである。

日本語の「しかし」は，「並列・累加・選択・順接・逆接・説明・補足・転換」に意味上分類される接続詞の中では「逆接」に属するものであり，

でも，ところが，けれども，だけど，が，にもかかわらず，それなのに，ですが，もっとも，とはいっても，ただし，

等が同じく逆接型接続詞に区分けされる。

「逆接」とは「前提から予想される事柄に反した事柄を述べる場合の表現」（『日本語教育事典』）を意味するが，逆接型接続詞「しかし」に森田良行（1980:191−2）は次の様な三用法をみとめる。例文も森田からの引用である。

(11) 予想を超える事柄を付加する場合

オーナードライバーの中には，この峠が心配で神津牧場へ行けないという人がある。決してよくはない。しかし，ともかくバスが通っているのだ。

(12) 前件の内容に対応する事柄を述べる場合

昼休みの時が来たら，大工場ではサイレンが鳴り渡り，オフィスではベルが壁から響く。しかし，私だったら，休みのシグナルにはチャイムを使いたい。

(13) 新たな事実や意見を提示する場合

そういえば西欧風の石造りが少ないのも，石材資源が少なかったからに違いない。しかし，考えてみると，日本のように地震の多い国では，木造家屋のほうがかえって適しているとも言えるのである。

逆接型接続詞といっても純粋に「逆接」といえるのは，「オーナードライバーが行けないというほどのひどい道ならば，大型のバスが通れないと予想されるが，実はバスは通っている」という例(11)の用法のみであろう。例(12)は，昼休みの合図に使われる大工場のサイレンやオフィスのベルが筆者の希むチャイムと対比される。そして例(13)では，石造り

建築が日本に少ないという話題について語られているが，石材資源が乏しかったという理由を挙げ，それを補足するかのように地震国に適さないものであるというコメントが付加する。

森田による「しかし」の三用法を前述のButの用法に照し合わせると，例(11)は“unexpectedness”を伴うcontrastに相応し，例(12)の対比用法は普通のcontrastにあてはまるが，しかし，例(13)の用法が英語のButにはみあたらない。それでは，contrastを示さない用法はButには全くありえないのであろうか。L.Schourup & T.Waida (1988: 224−5)は次の様な興味深い例を挙げている。

(14)...I'm never late for work now; it only takes five minutes to get from my place to the office. [pause] {Anyway/But anyway} , what I really called to say is that there's a rock concert in the park on Thursday. Are you interested in going?

話者はロックコンサート勧誘の電話をかけるのだが，話が外れて，買ったばかりのバイクのおかげで今は仕事に遅刻しなくなったことを語る。しかし電話をかけた本当の目的を思い出し本題に戻るのだが，その際，But, Anyway, 若しくはこれら二つの接続語句を重ねて用いることがあるという。このButは，彼等の言葉を借りれば，“to dismiss what has just been said and connect back to something said earlier”(p.224)の機能を有する。話題を元に戻す合図のButである。「この話題はこれ迄にして」と，会話及び文章の話題が転換していく際に用いる用法がButにもあることが上記の例文から明らかとなったが，然しながら，Anywayと同義的なこのButの用法は，「しかし」の三番目の用法に対応するものでは決してない。Butは話題を打ちきるときに用いられるが，「新たな意見や事実を提示する場合」の「しかし」は，文章全体を流れる共通のトピック（例(11)においては石造り建築の少なさ）に関連したサブトピック（石材資源の乏しさと地震国に不向き）が提示される時に用いられるものであり，同質のものとはいい難い。Butは前件と後件の「断止」の指標であり，それに対して「しかし」は前件と後件の「継続」の指標となるのである。

3．本節では，「しかし」とButの類似・相違を，日英語間の翻訳を通して日本語側からの比較対照を試みる。

一つの言語の表現内容を他の言語の表現内容に移しかえることは様々な困難を伴う。殊に日本語と英語の様に系統の全く異なる言語間の翻訳では，原文の構文にそった逐語訳が意味をなさなかったり不自然になることがよくある。より「自然な」翻訳をするために，その場に応じて，原文にはない表現を加えたり，逆に原文にみられる表現を削除したり，全く別の構文におきかえたりする。次の例をみてみよう。

(15) 夕里子が通っているのは私立の女子高で，短大まではエスカレーター式に進むことができる。優秀な者は他の大学を受験していた。高校二年から，クラスは大学受験組と短大組とに分かれて，授業も別々に行われる。
（『三姉妹探偵団』）
She attended a private high school for girls that guaranteed all students a place at a junior college. However, some of the brighter students preferred to go on to a proper university and followed a different curriculum from the second year of high school to prepare them for the entrance examinations.

(16) 敦子は見るからに本当に可愛い女の子である。同性の夕里子がほれぼれとするほどの，愛らしさ。しかし，夕里子とて，決して可愛くないわけではない。美人である，と多少の自負もある。
ただ —— ちょっとはねっかえりで気の強いのが玉にキズなのだ。（『三姉妹探偵団』）
Atsuko was very cute, so much so that even Yuriko felt attracted to her. This is not to say that Yuriko was not pretty herself. In fact, she thought of herself as beautiful, though she admitted she had the flaw of brashness.

例(15)においては，三文からなる原文が英訳では二文にまとめられ，しかも原文にはみられないHowever を挿入することにより先行表現と後行表現を対照させている。逆に例(16)は原文にある「しかし」が削除され，“This is not to say …”と異なる構造に移行し，更に，「ただ —— ちょっとはねっかえりで……」は新しい段落をなしているにも拘わらず，翻訳ではThoughに導かれて前段落の一部となっている。この様な現象は決して珍し

くなく，翻訳家の個人的傾向も時に加わり，原文と翻訳の対比対照はおのずと限界があり速断は危険を伴なうが，それでも往々にして一つの特徴が浮き彫りされるものである。

前節で日本語の「しかし」と英語のButの用法をそれぞれ検討した結果，「しかし」とButの用法は一部対応し，一部対応しないことが明らかとなった。contrastを示す用法は両者に共通するが，「新たな事実や意見を提示する場合」に相応するものがButにはみとめられなかった。次例を参照されたい。

(17) 割と大変なのね，空巣ってのも。

珠美は，額の汗の拭った。

何しろ素人（？）の空巣である。捜す物もはっきりしないのでは，一向にはかどらないのも当然。

しかし，引出しや押入れを調べること自体は，そう苦労ではなかった。あまり感心したことではないが，覗き見的楽しさもある。

しかし，総てを，気付かれないように，元通りにしておく，というのが，想像もしていない大仕事であった。（『三姉妹探偵団』）

"It's quite hard work being a thief," thought Tamami, wiping the perspiration from her forehead. Being an amateur and not knowing what she was looking for made progress very slow.

__ She did not mind going through the drawers and closets--it was interesting to see what was in them-- but it was much harder than expected to put everything back exactly as it had been.

例(17)には「しかし」が二度用いられ，最初の「しかし」に相当する語は英訳では省略されているが，二つ目の「しかし」はそのままButに置き換えられている。「翻訳」の一層の自然さを期して，たまたまこの箇所においてのみ最初の「しかし」が削除されたのであろうか。ただ，ここで注目したいのはこれら二つの「しかし」は用法が異なることである。最初の「しかし」が「新たな事実や意見を提示する場合」なのに対して，二つ目の「しかし」は「予想を超える事柄を付加する場合」若しくは「前件の内容に対応する事柄を述べる場合」である。この例においてはどちらともいえる。そして前者は英訳において削除され，後者はButにおきかえられている。以下，contrastを示す「しかし」とcontrastを

示さない「しかし」に二大別して，原文とその翻訳を検証してみたい。最初はcontrastを示す「しかし」の例である。

(18) ---この四つの章は，四枚の岩磐の重なりのように崩しようがなかった。しかし，これは崩す必要があるのだ。いや，絶対に，崩さなければならないのだ。(『点と線』)

The four items looked irrefutable; they were like four concrete blocks placed one on top of the other. But they must be toppled, he decided. They absolutely had to be pulled down.

(19) もちろん綾子も普通のホテルなら泊ったことがある。ラブホテルだって，週刊誌の写真なんかで見たことはある。

しかし，こんなにキンキラキンとは思わなかった。(『三姉妹探偵団』)

She had stayed in regular hotels before and had seen photos of this kind of hotel in magazines, but she never expected anything quite so gaudy.

(20) ---安田が北海道に行ったことは証明されるであろう。それは，傍証を調べられる可能性を相手は心得ているからだ。しかし，女房が病気で寝ていることなどは ——うっかりとこちらが頭から信用してしまいそうなことだった。あまりに平凡でわかりすぎていそうな錯覚をおこすのだ。(『点と線』)

He was certain Yasuda's trip to Hokkaido would-be confirmed; Yasuda knew that would be checked. But regarding his wife, ill in bed,that was something people might easily believe, something so commonplace one was apt to accept it without question.

「崩すことは出来ないが崩さなければならない」の例(18)と，「想像はしていたが，これほどとは思わなかった」の例(19)は，「予想を超える事柄を付加する場合」であり，「調べられることを予期して行動する安田に対して，妻・亮子の立場は捜査陣に錯覚をおこさせる」の例(20)は，「前件の内容に対応する事柄を述べる場合」であるが，いずれもcontrastを示すものであり，Butにおきかえられている。

(21)「こうして条件を組み立ててゆくと，あらゆるものが安田辰郎の作為を指向している。

しかし，この作為には目的がない。作為がある以上，目的がなければならないが，今のところわからない」（『点と線』）

When we put together all the facts they add up to a plot by Yasuda. Yet there is no apparent purpose. There can't be a plot without a purpose and for the moment we don't know of any.

(22) 一月二十一日乗船の青函連絡船の名簿をかたっぱしから調べた。石田部長の名も安田辰郎の名もある。しかし佐々木喜太郎の名はどこにもなかった。（『点と線』）

He checked the passenger lists of all Seikan ferries on January 21. Ishida and Yasuda's names were there; Sasaki's name was not.

「作為であるはずだが作為たるべく目的がない」の例(21)は「予想を超える事柄を付加する場合」となり，「石田部長と安田辰郎の名前はあるが，佐々木喜太郎の名前はない」の例(22)は「前件の内容に対応する事柄を述べる場合」であるが，これらの「しかし」はBut にではなく，Yet とセミコロンにそれぞれ移しかえられている。然しながら，Yet もセミコロンもBut と同様contrastを示す用法があり，「翻訳」する上で何ら支障はない。この様に，「予想を超える事柄を付加する場合」若しくは「前件の内容に対応する事柄を述べる場合」の上記の五例はすべて英訳において無視されることはなかったが，Butにその用法がみあたらない，即ち，contrastを示さない「しかし」の場合はどうなのか，同じく実例にあたってみよう。

(23) それによると，罪を意識して死んだとあります。はたしてそうでしょうか。私には，どうもタフな安田辰郎が自殺したとは思えません。死期遠くないことをさとった亮子が，またも何かの詐術をもって，夫を道づれにしたように思えます。亮子という女は，そんな女なのです。

しかし，実のところ，安田夫婦が死んで，ほっとしましたよ。なぜかといって，これには物的証拠がまったくといっていいほどないからです。状況証拠ばかりです。よく逮捕状が取れたと思ったくらいです。公判になったら，どうなるかわからない事件です。（『点と線』）

In it she admits the crime. Frankly, I am skeptical. I find it hard to

accept that a man as tough as Yasuda would commit suicide. I believe that Ryoko, who knew her end was near,could have planned it and taken her husband with her. She was that kind of a woman.

___ I must admit I was relieved to find the Yasudas dead, because there is almost no material evidence in this murder case. It is all circumstantial. I am even surprised we were able to secure a warrant for their arrest. It was the type of case which, if brought to trial, one could not be sure of the outcome.

これは三原警部補が捜査のお世話になった鳥飼刑事にあてた事件結着の報告を兼ねた礼状の一部である。先行する段落では犯人の安田夫妻，特に妻・亮子について触れ，後行段落では犯人達の自殺により公判を免れえたことを語る。安田夫妻の死というトピックをめぐって，文章展開は前件と後件の二つのサブトピックに分かれるが，それらを「接続」する「しかし」が英訳では無視されている。同種の例文を幾つか引用する。

(24) 十五番線の人ごみの中を，たしかにお時さんが歩いていた。その他所行きの支度といい，手に持ったトランクといい，その列車に乗る乗客の一人に違いなかった。とみ子もやっとそれを見つけて，

「まあ，お時さんが！」

と言った。

しかし，もっと彼女たちに意外だったことは，そのお時さんが，傍の若い男と親しそうに何か話していることだった。その男の横顔は，彼女たちに見おぼえがなかった。（『点と線』）

Otoki it was, walking through the crowd on platform 15. From the way she was dressed and from the suitcase she carried, it was evident that she was a passenger. Tomiko also spotted her at last and cried, "Why, of course! It's Otoki!"

___What surprised them most was that Otoki was talking intimately to the young man who was walking beside her. His face, seen in profile, was not familiar to them.

(25)「……　彼は課長補佐といっても，長い間，実務にたずさわってきた男で，行政事務には明るいのです。したがって，こんどの事件にも大きな役割を演じています。その点では，参考人というよりも被疑者に近いでしょうな。ただ，われわれがうかつだったのは，まだ事件の当初だったので，彼の監視が十分でなかったことです。そのため，うかうかと死なれてしまいました」

三原は，煙草の灰を指で叩き落して，つづけた。

「しかし，彼の死によって，助かった顔をしている者がずいぶんいますよ。じっさい調べれば調べるほど，佐山の口から聞きたいことがいくらでもあるのです。……」

（『点と線』）

" Although only an assistant section chief, he was actually in charge and thoroughly familiar with the administrative work of the section. He was therefore an important figure in the case. As a matter of fact, he was closer to being a supect than a witness. Since the case was still young, we foolishly failed to have him closely watched. Because of this, we let him die." Mihara flicked the ash of his cigarette. "___ Many people were no doubt greatly relieved when they heard of his death. The further we investigate, the more we find that we would have liked to question him..."

(26) 裕美は唖然とした。そして，ふと，思い当たって，

「じゃ，山中さんのときも，同じだったんですね？ 警察から話があって，ここをやめろとおっしゃったんですね？」

園長は否定も肯定もしなかった。―― 言ってもむだだ，と裕美は思った。しかし，こういう人間が，あの一家を死へ追いやったのだ。（『真夜中のための組曲』）

Yumi was puzzled, then she thought of something.

"It was the same with Mr. Yamanaka, wasn't it? You had a call from the police, and you asked him not to bring his child any more."

The headmistress neither admitted nor denied it. She did not need to. Yumi knew she had guessed correctly.____ It was people like this who had hounded that family to its death.

(27) 夕里子は，ゆっくりと，夜の道を歩いていた。

珠美を一応病院へ連れて行き，検査した方がいいというので，今日一日だけ，入院

させることにしたのである。

あれやこれやで，こんな時間になってしまった。

しかし，珠美には参った。検査と聞くと，その度に，

「それ，いくらかかるんですか？」

と訊くのだ。

夕里子は顔から火が出るような思いであった。（『三姉妹探偵団』）

Yuriko walked slowly along the darknend streets.

She had taken Tamami to the hospital, where she was told that Tamami should stay the night as tests were needed. And with one thing and another it had grown quite late.

____She did not know what she was going to do with Tamami. Yuriko had never been so embarassed in all her life. Each time the doctors wanted a new test, Tamami would ask how much it was going to cost.

例(24)に一貫する話題は料亭「小雪」の仲居達の驚きであり，東京駅で同僚のお時さんの姿を見かけたことを前件として，しかも彼女が若い男性と一緒だったことを後件として列挙する。例(25)は情死したとされている佐山課長補佐がトピックであり，被疑者に近い存在の彼に死なれたことの残念さと彼の死を喜ぶ者が少なからずいることの二つのサブトピックが，「しかし」によって「接続」される。例(26)では，裕美が感じた園長への不信感を補足するかのように，「しかし，こういう人間が，あの一家を死へ追いやったのだ」と後件が続く。そして例(27)においては，珠美を検査のため入院させてすっかり時間が遅くなったことから，その珠美の性格についての言及へと話が展開してゆく。例(24)から(27)迄いずれも，英訳において原文の「しかし」に相当する語がみあたらない。

contrastを示さない用法の「しかし」が，Butに置き換えられないであろうことは，前節の分析からも予測されたが，上記の原文とその翻訳文の比較対照によってそれが確認されたことになる。例(17)の二種類の「しかし」の英訳のあり方，即ち，前者は省略され後者はButにそのまま移しかえられた例は，たまたまこの箇所においてのみその様に翻訳されたのではなく，必然性を伴ったものなのである。或る大きなトピックがあり，それに関連したサブトピックが語られる文章展開において，日本語は接続詞「しかし」を実によく用いるが，英語においてはButは決して用いられることなく，その他の接続語句さえも一

切使われていない。But にはその種の用法がないからであり，加えて，接続語句そのものを必要としないからである。

ところで，英訳においてすべて無視された例(17)の最初の「しかし」や例(23)－(27)の「しかし」は，実は原文においてもどうしてもなくてはならない「しかし」というのではなく，仮に原文から削除しても「意味」に変化が生じることがない。それに対して，contrastを示す用法の「しかし」は，「しかし」の有無が「伝達内容」に影響を及ぼす。例えば，「太郎は金持だわ。_____太郎は不幸だわ」の文において，下線部分が空白である場合は，太郎が金持ちであるという事実と不幸であるという事実を相互に関係づけることなく単に羅列するにとどまり，「太郎はお金には全く不自由しておらず幸福かと思いきや，意外にも不幸なのよ」の意味が十分に伝わらない。下線部分に「しかし」が生起して初めて，“unexpectedness”を伴ったcontrastの意味が伝達されるのである。「しかし」は「逆接性」が強いほど「伝達内容」に関与する度合も大きいといえる。「逆接性」の極めて曖昧な，というよりむしろ，「逆接性」を殆ど含まない，といっていい「新たな事実や意見を提示する場合」の「しかし」は，生起してもしなくても「伝達内容」の量に増減をきたすことがない。英訳において常に省略されるのは故あってのことである。積極的意味を有しないということであるが，だからといってこの種の「しかし」に如何なる機能もみとめられないというのではない。話題の展開・転換のときにあらわれる「しかし」は，文章の流れが断ちきられることなく脈々と続いている「継続感」を前面に打ち出す。「しかし」の一語は，話し手（＝書き手）及び聴き手（＝読み手）が文章展開の「継続」を確認し合うシグナルともいえよう。そしてそこに「日本語らしさ」が感じられる。単文の範囲を超えるものはすべてdiscourse(談話）と一まとめにくくられてしまうが，単文と単文，若しくは二文或いは三文の接続に関わる場合ではなく，より大きな文連結（段落も含む）相互のレベルでもっとも機能する性質の「しかし」であり，このレベルで捉えられるべき「日本語らしさ」である。

4．1節のMizutani & Mizutani の例に戻れば，先行表現と後行表現のcontrastを示すのでもなく，「さて，ここで本題に戻って」という様に話題を断止するのでもない「しかし」が，何故用いられているのか，英語母国語話者は Butの用法に干渉されるが故に理解に苦しむことになる。次例も同じくMizutani & Mizutani(p.28) からの引用である。

(28) A few days ago Mr.Okada came to the office to see Mr.Lerner. After they had exchanged Senjitsu-wa doomo 's (lit. I was rude the other day) and Mr.Okads had taken a seat, he said:

Shikashi samuku narimashita-nee

しかし さむく なりましたねえ。

(But it has become cold, hasn't it?)

ここでも，先行表現の「先日はどうも」という挨拶と後行表現の「寒くなりましたねえ」の間に，彼等にとっては不可思議な「しかし」が挟みこまれている。

前節で，「新しい事実や意見を提示する場合」の「しかし」は，用いても用いなくても「伝達内容」に増減のないことを指摘したが，その意味では，Mizutani & Mizutani の二例とも削除可能な「しかし」である。「しかし」に導かれることなく，「田中さんもえらくなりましたねえ」や「寒くなりましたねえ」としても少しも不都合をきたさない。

然しながら，同じく省略可能な「しかし」とはいっても，前節でみてきた例(23)－(27)と例(5)及び(28)は性質を異にする点が一つある。「新しい事実や意見を提示する場合」とは，前にも述べたように，文章が展開していく上で或る共通のトピックに関係あるサブトピックが「しかし」によって「接続」しているのであり，当然先行表現と後行表現は関連性をもつ。ところが，例(5)及び(28)においては，先行表現と後行表現は全く異質のものであり，喫茶店でお茶を飲む話と田中さんの話，そして挨拶と気候の話が，それぞれ脈絡なく続くにすぎない。それに関連して，次例を観察されたい。

(29) Aお茶でも飲みましょうか。

Bいいですね。あそこはどうですか？

Aええ，じゃ，あそこにしましょう。

??Aしかし，昨夜遅く，我家のお隣さんの家から叫び声が聞こえましてね。

(30) A先日はどうも。

Bこちらこそ，どうも。

??Aしかし，先週，対馬という玄海灘に浮かぶ小さな島に行ってきたのですが，ああ

いう素朴な田舎に行くと，ここ東京と違ってホッとしますよ。

後行表現の内容を変えた上記二例のacceptability(容認性)は著しく低いものとなる。「しかし」がなければ日本語母国語話者にとっても決して不自然な会話とはうつらないが，まさに「しかし」が挿入されていることにより容認性が究めて低下し非文に近くなってしまう。共に先行表現と後行表現が異質の話題でありながら，Mizutani & Mizutani の例文と上記二例はどこが違うのであろうか。

例(5)の田中さんが偉くなったことや例(28)の寒くなってきたことは，会話の当事者達が共有するサブトピックである。通りでバッタリ出会った時に片方が初めてしらされたニュースではないし，又日々寒さが増していることも岡田・Mr.Lerner 両人が肌で感じていることなのである。つまり，旧情報のサブトピックであるが，一方，例(29)(30)の後行表現は，会話の場で初めて導入された，聴き手にとって新情報のサブトピックである。そして，後件が旧情報の例文はacceptableなのに対して，新情報の用例はunacceptableとなるが，この事実は先行表現が何かについて示唆を与えてくれるものである。後件が旧情報ということは前件も旧情報でなければならず，前件・後件を一貫するトピックも旧情報となるはずである。例(5)はA・B共によく知る田中さんがトピックである。田中さんに関する諸々の知識をA・Bは共有しており，しかもそのことをAは認識しており，その認識のもとにAは「しかし，田中さんもえらくなりましたねえ」と会話をすすめるのである。田中さんについて二人が共有する知識（若しくは認識）が先行表現となり，但し，言語化されない先行表現となり，それに後行表現が「しかし」を伴って続く。例(28)では冬にむかう季節のうつろいがトピックとなり，この時期が寒くなるのは当然だと岡田・Mr.Lerner の二人は認識しており，この認識が省略された先行表現となり，「しかし，寒くなりましたねえ」の後行表現へと結びつく。後行表現が話し手・聴き手双方にとって旧情報であるからこそ，省略された旧情報の先行表現の復元が可能となるのである。例(29)のお隣さんの出来事や例(30)の対馬の素朴さは，聴き手にとって新情報であり，文章理解上必要な先行表現の復元は不可能となり，そもそも省略は許されないのである。その場合，先行表現として喫茶店でお茶を飲む話と挨拶しか候補がみあたらず，全く異質の話が「しかし」によって「接続」されることになり，容認性が極めて低くなってしまう。前述のように，後行表現を導く「しかし」は文章(及び会話)が「継続」していることを示す指標であるが，例(5)及び(28)においては，言語化されなかった旧情報の先行表現から

の「継続」を合図するものである。先行表現が言語化されている例でも，Butにはその種の用法がないため英語母国語話者には馴染み薄いのに，まして，先行表現が省略されているとあっては理解に苦しむはずである。

(31) しかし，実に平賀源内である。私は驚いてしまった。ナショナルのあの時間帯である。人生楽ありゃ苦もあるさ，ということで全国のお父さんをはげまし続けたあのワクにいきなり平賀源内，こりゃ驚くじゃないですか。全国のお父さんはどうするんですか。

過去，あのワクが提供し続けてきた人生観というのは，まあ，あれですよ，水戸黄門ね，……（『週刊文春』6月1日号）

この用例は，毎週特定のテレビ番組を選び，地区別視聴率を比較しながらその番組について論じる連続コラムであるが，コラムのまさに冒頭に「しかし」が用いられているのである。先行表現は省略されているとしか考えようがない。省略されているということは旧情報でなければならないが，ＴＢＳテレビの月曜日夜八時は長年「水戸黄門」が好視聴率を保っているという周知の事実がその旧情報となる。会話と違って文章は一方通行であるが，筆者はその事実を読み手も認識していることを前提としており，その前提によってなりたつ，書き手・読み手共有の認識が省略された先行表現となる。文章展開の「継続」を示す「しかし」が予想外の冒頭にあらわれることにより，書き手・読み手の共有知識（認識）が前面に押し出され，読み手は書き手と一気に一体感をもつことになり，しかもそれが決して不快とはならない。言語環境を共有する状況でこそ可能となる用法であるが，「日本語らしさ」とは書き手（＝話し手）及び読み手（＝聴き手）の一体感に根ざすものであろう。

最後に，Mizutani & Mizutani の例の「しかし」以外の場合を考えてみよう。

(32) Aお茶でも飲みませんか。

Bいいですね。あそこはどうでしょうか。

Aええ，じゃあそこにしましょう。

A ｛しかし／それにしても／ところで／＿＿＿＿｝田中さんもえらくなりましたねえ。

(32)は何れもacceptableであるが，もっとも「日本語らしさ」を感じさせるのはやはり「しかし」であろう。そして「しかし」に最も近いのは「それにしても」である。接続詞を伴なわない時はある唐突さを聴き手に印象づける。「ところで」は「話は変わりますが」という純然たる話題転換の指標となり，それは喫茶店でお茶を飲む話題からの転換を示すものである。「しかし」と「それにしても」の場合は，言語化されなかった先行表現から「継続」する会話の流れを話し手・聴き手が確認し合うことが強調され，「日本語らしく」なる。話し手・聴き手（書き手・読み手）の協調関係を重んじる日本語は，英語が会話（文章）の展開のあり方が「点的」であるのに較べて，「線的」といえるのではないだろうか。

以上，本稿では，「しかし」とButにのみ限定して談話接続の日英対照を試みたが，その他の接続語句の場合も検討する必要があり，それは今後の研究課題とする。

注. 例文の下線はすべて筆者によるものである。

例文出典

赤川二郎　『三姉妹探偵団』　講談社文庫
Frew,G.(Tr.) Three Sisters Investigate. Kodansha International.

赤川二郎　『真夜中のための組曲』　講談社文庫
Frew,G.(Tr.) Midnight Suite. Kodansha International.

松本清張　『点と線』　新潮社文庫

Yamamoto, M. & Paul Blum (Tr.) Points & Lines. Kodansha International.

参考文献

相原林司 (1987) 「接続語句と文章の展開」『日本語学』 Vol.6, No.9

岩澤治美 (1985) 「逆接の接続詞の用法」『日本語教育』 56号

小川芳男ほか (編) (1982) 『日本語教育事典縮刷版』大修館書店

国立国語研究所 (1983) 『談話の研究と教育Ⅰ』日本語教育指導参考書 11

国立国語研究所 (1989) 『談話の研究と教育Ⅱ』日本語教育指導参考書 15

佐治圭三 (1987) 「文章中の接続語の機能」山口明穂 (編) 『国文法講座 6　時代と文法 —— 現代語』明治書院

橘　　豊 (1987) 「『接続』研究の現在と問題点」『日本語学』 Vol.6, No.9

畠 弘己 (1985) 「接続詞と文章の展開」『日本語教育』 56号

水谷信子 (1985) 『日英比較話しことばの文法』くろしお出版

森田良行 (1980) 『基礎日本語 2』角川書店

森田良行 (1987) 「文の接続と接続語」『日本語』 Vol.6, No.9

Halliday, M.A.K. & R.Hasan (1975) Cohesion in English. Longman.

Lakoff,R.(1971) "'If's, 'and's, and 'but's about conjunction," C.J.Fillmore & D.T.Langendoen (eds) Studies in Linguistic Semantics. Holt, Rinehart and Winston.

Mizutani,O. (1981) Japanese:The Spoken Language in Japanese Life, translated by J.Ashby. The Japan Times.

Mizutani,O.& N. Mizutani (1979) Nihongo Notes 2. The Japan Times.

Quirk,R., S.Greenbaum, Q.Leech & J.Svartvik (eds.)(1985) A Comprehensive Grammar of the English Language. Longman.

Schourup, L. & T.Waida (1988) English Connectives. Kuroshio-Shuppan.